



増加傾向にある 平成26年3月卒業予定大学生等を 採用する中堅・中小企業数

9月に厚生労働省より、来春卒業予定の大学生等に対する求人見込みについての調査の結果が発表されました。この調査は、ハローワークが新規学卒者向けの求人提出を要請した事業所などに対して、平成25年6月1日から7月31日までの間に調査が行われたものになります。来春の採用予定が分かる内容となっていますので、その調査結果についてとり上げておきましょう。

1.採用予定の全体動向

この調査は29,697事業所に対して行われましたが、このうち「来春卒業予定の大学生採用予定がある」と回答した事業所は10,562事業所となっており、全体の35.6%を占め、前年度（26.2%）より9.4%増加しています（表1参照）。また、この採用予定があると回答した事業所のうち、昨年度より多いと回答した事業所は4,741事業所となっており、全体の45.0%を占め、前年度（40.5%）より4.5%増加という結果になりました（表2参照）。

表1 採用予定の有無

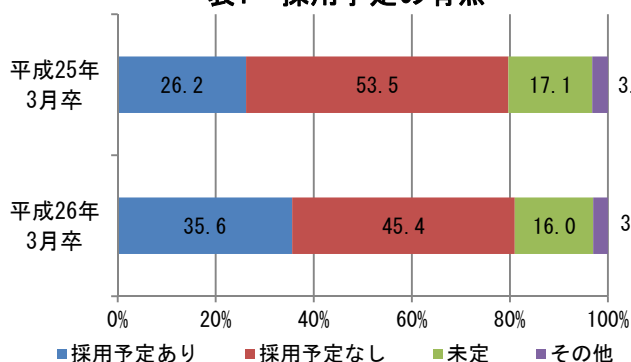
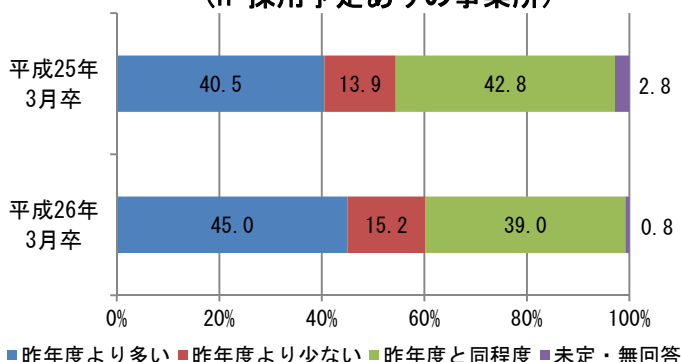


表2 昨年度と比較した採用予定人数
(n=採用予定ありの事業所)



2.主な産業分類別の動向

次に「建設業」、「製造業」、「卸売業、小売業」、「医療、福祉」の4業種について、昨年度と比較した採用予定（n=採用予定あり事業所）を見てみると下表（表3～6）のとおりとなります。これらの業種について、製造業以外は「昨年度より多い」と回答した事業所の割合が高くなっています。

表3 建設業

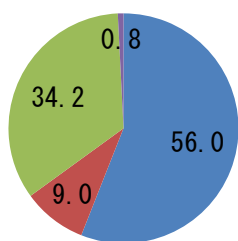


表4 製造業

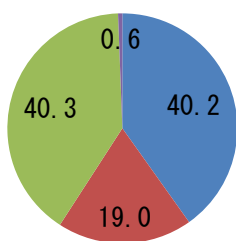


表5 卸売業、小売業

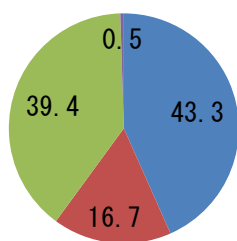
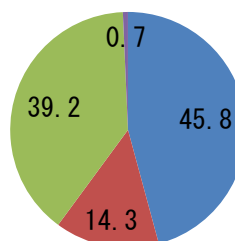


表6 医療、福祉



単位：%
 ■ 昨年度より多い
 ■ 昨年度より少ない
 ■ 昨年度と同程度
 ■ 未定・無回答

今回の調査結果をみる限り、中堅・中小企業が積極的に採用に向けて活動していることが窺えます。

新卒者の就職活動の早期化が問題となっていることを受けて、平成25年9月13日に一般社団法人日本経済団体連合会が採用選考に関する指針を改定し、平成28年度入社以降の選考活動の開始時期を卒業・修了年度の8月1日以降としています。大企業よりも若干、遅い時期に採用活動を本格化させる中堅・中小企業にとっては、この指針の改定は今後、大きな影響を与えることが予想されます。

